

区分	評価指標	平成21年度	平成22年度	対前年度比	図書館運営全体		
図書館運営	基本的サービス				自己評価	外部評価	
	資料購入費:決算数値(千円)	23,581	20,074	15%減	<p>○新潟市の図書館は、利用状況に合わせた予算配分となっているため、資料購入費が減少し、除籍等圖書の整理を毎年実施しているため、蔵書冊数も減少した。</p> <p>○岩室図書館の貸出冊数が昨年度に比べて若干減った。西川図書館、潟東図書館は増加し、区全体では増加しているが市立図書館18館中で見ると利用率が低いので、利用を増やす努力をしたい。</p>	<p>○資料購入予算は年々減額で寂しいと感じます。財源がないのは承知していますが、多くの住民ニーズに応えるため未来のため減らさないで欲しい。少ない予算で頑張っている図書館を評価しています。</p> <p>○西川図書館では毎週のように事業が実施されていてよいと思います。地区館、特に岩室の人材を発掘して図書館の応援団にできたらよいと思います。</p> <p>○地域の人々に活用され、支えられる図書館になるために、潟東・岩室・巻の地区館がそれぞれ何をしなければならないかを考える必要があります。そうすればいずれ登録者の増につながっていくと思います。</p> <p>○資料購入費、購入冊数が減少しているが、減少により利用者へのサービスが低下していないか検証して欲しい。</p> <p>○貸出が思っていた数字より多いと思いました。市民の利用状況を前年と比較してみると、3館全体で個人入館者数は5.1%、貸出人数は10.2%増え、また3館別にみてもいずれも入館者数、貸出人数とも増え、利用状況は向上しています。借りられる冊数は1人10冊以上でも良いと思います。</p> <p>○利用者の満足度を増やすため開館時間を早くという声があり、15分でも繰り上げてみてはどうでしょうか。</p> <p>○登録者数が減少している理由を分析し対策を立てるべきです。登録者が減っているのに、貸出冊数が増加していたのはオンライン化の影響でしょうか。新規登録者数に関して、岩室、潟東が相対的に少ないようですが、これは地域特性による原因でしょうか、館のサービス面での問題があるのかを検証する必要があります。</p>	
	蔵書冊数(冊)	218,231	202,720	9.3%減			
	貸出冊数(点)	302,132	309,188	2.3%増			
	登録者数(人)	15,468	11,301	27%減			
(内新規登録者数)	2,224	1,358	39%減				
区分	評価指標	平成21年度	目標値(平成22年度)	平成22年度	評点	評価(次年度への展開)	
施策・事業(オンライン各館を含む)	課題解決型図書館					自己評価	外部評価
	レファレンス件数(件)	1,026	1,100	前年度以上	715	1	<p>○レファレンス・ビジネス支援サービスの利用について、具体的な例などを図書館だよりなどに載せてPRを図ると良いと思います。</p> <p>○レファレンス件数は目標数値を下回ったが、原因がどこにあるのかを検討して、増やす努力をして欲しい。</p> <p>○レファレンス件数の向上に向けて、広報とともに職員などによる直接的な相談・アドバイスの充実も必要です。</p> <p>○ビジネス支援サービスは専門家がいることで解決できるが、すべての館では対応が難しいと思います。</p> <p>○中心館は独自のホームページがあってよいと思います。西川図書館のホームページがなくなって、図書館ホームページが全市1つにまとまりましたが、西川の行事を探すのに非常に不便になりました。館別の入り口があって、そこから入るとその館の事業や情報などをまとめて見られるようなホームページを早急につけてください。多くの利用者は市内の全部の図書館を利用しているわけではなく、最寄の図書館や特定の図書館を利用していると思います。</p>
	個人予約件数(件)	17,621	20,000	13.5%増	28,730	4	
	ビジネス支援サービス相談受付件数(件)	0	10	希望数	0	1	
	ホームページアクセス件数(件)	34,772	-	-	-	-	
	分権型図書館					自己評価	外部評価
	郷土・行政資料の蔵書冊数(冊)	7,180	7,300	前年度以上	7,960	4	<p>○地域性もありますが、郷土関係の専門家が多い地域は収集が容易です。資料収集には、もっとPRが必要です。各地区にはそれぞれ郷土資料館もあるので、連絡しあって資料を収集してみてもどうでしょうか。郷土資料を各地区ばらばらに収集するよりも1か所に集め他方がよいと思います。</p> <p>○地域の図書館は郷土資料のみならず、地域の特色をもった書籍を収集してもよいと思います。巻の場合は原発に関係する資料を集めるという選択肢もあると思います。</p> <p>○郷土・行政資料の貸出冊数を増やしていく方法として、自分達の郷土・地域について学習したり、話を聞いたり、発表したりする機会、講座を設け、関心のある人たちにその場で資料を紹介してはどうでしょうか。</p>
	郷土・行政資料の貸出冊数(冊)	2,932	3,500	前年度以上	2,972	1	
	学・社・民融合型図書館					自己評価	外部評価
	児童書の貸出冊数(冊)	84,777	86,000	前年度以上	87,271	4	<p>○児童の利用が増えていることは、取組を評価します。生徒の利用を増やすため、小・中学生の授業の一環として、図書館に来てもらい利用してもらおうよう働きかけて欲しい。</p> <p>○子どもたちの利用促進は、学校を通じて実現すると思うので、学校司書との一層の連携を望みます。学校などへの団体貸出のデータも教えて欲しい。</p> <p>○融合型の図書館として、夏休み冬休み期間に親子で参加でき心が通う「おはなし会」を実施して欲しい。</p> <p>○前年度を下回っている「子ども・親子対象事業の参加者」については、親子のニーズを探り、ふさわしい事業の企画と、参加しやすい時期・曜日・時間での開催を検討して欲しい。新しい事業もやって欲しい。</p> <p>○ふれジョブなども積極的に受け入れて欲しい。</p> <p>○出前講座を多くして欲しい。需要も多いので増やして欲しい。</p>
	小中学生への貸出冊数(冊)	31,455	33,000	前年度以上	31,784	2	
	子ども・親子対象事業の参加者数(人)	2,340	2,500	前年度以上	1,766	1	
	職場体験受入人数(人)	34	40	前年度以上	36	2	
	講師等としての派遣職員数(人)	101	120	20%増	132	3	
	パートナーシップ型図書館					自己評価	外部評価
	図書館事業のボランティア活動者数(人)	193	250	30%増	1,008	4	<p>○図書館事業のボランティア活動者数は目標値を超えたので、現状のままを維持する。</p> <p>○ボランティアが参加できる事業の回数を増やすことにより、参加も多くなると思います。曜日や時間帯により参加する人が決まってくるので、仕事が終わる夕方の方が集れる場合もあると思います。</p> <p>○読み聞かせのボランティア数を増やすことに併せて、読み聞かせの技能向上が必須条件となると思います。</p> <p>○ボランティア団体交流会参加者が少ないが、あらたまった交流会だけでなく、日常活動されている時にも、気軽に意見・提案を聞いてみるという方法も取ってみるとよいと思います。</p> <p>○学校司書の自主勉強会を主宰していますが、今年度から西川図書館との共催事業にしてもらったら、図書館からの学校への広報のおかげで新たな参加者が増えました。このような図書館の関係団体への支援を評価します。今後も積極的にやって欲しい。</p>
ボランティア団体交流会参加者数(人)	18	20	前年度以上	4	1		
利用者懇談会の開催回数(回)	1	1	前年度並み	1	3		
共催事業の実施回数(回)	15	15	前年度並み	15	3		
運営(職員)					自己評価	外部評価	
研修参加職員数(人)	89	90	前年度以上	100	4	<p>○現状を維持して欲しい。</p> <p>○現状で、人数、サービス体制が十分か、問題のある点があれば、改善して欲しいし、こちらからも要望していきたいと思います。</p>	

※施策・事業の評点は1:目標値を大きく下回った 2:目標値を少し下回った 3:目標どおり達成 4:目標値を上回って達成
 ※教育ビジョン:市教育委員会が策定した指針、組織目標:新潟市が実施している組織ごとの行政評価